

事業番号	06 02 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	自然エネルギー推進事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課ゼロカーボン推進室			
		実施期間	H25 ~	E-mail	zerocarbon@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標	8.再生可能エネルギー自給率							
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成		2-2 地域内経済循環の促進					
	4-5 地球環境への貢献							

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】<長野県環境エネルギー戦略> （「長野県ゼロカーボン戦略」として改定予定） 「持続可能で低炭素な環境エネルギー地域社会をつくる」 ・再生可能エネルギー自給率（2030年度）：23.4% ・再生可能エネルギー導入量（2030年度）：30,394TJ ・発電設備容量でみるエネルギー自給率（2030年度）：162.9% ・県下全域に特色ある地域主導型の再生可能エネルギー事業が実施される など	
	【これまでの取組】 ・平成25年に策定した環境エネルギー戦略に基づき、県内における地域主導型の再エネ事業を普及促進 ・地域の事業者が行う太陽光、小水力等の発電事業や木質バイオマス、地中熱等の熱利用事業を支援 ・「信州屋根ソーラーポテンシャルマップ」を構築し、自家消費型太陽光の普及促進 ・産官学民連携ネットワーク組織との協働による再生可能エネルギーの普及啓発 など	
令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) 現状分析	課 題	今後の方向性
	・太陽光発電以外の再エネ導入の進捗が僅かな伸びに留まっている。 ・環境負荷の少ない建物屋根でのソーラー普及拡大のため「信州屋根ソーラーポテンシャルマップ」の効果的な周知、活用が必要。 ・産業、農業、観光など他分野との協働による相乗効果を発揮することが必要。	・収益納付型補助金、小水力発電キャラバン隊等の活動により地域主導の再生可能エネルギー事業を積極的に創出。 ・信州屋根ソーラーポテンシャルマップを地域の家電販売店等と協働して周知・活用し、住宅用太陽光発電の普及を推進。 ・気候非常事態宣言を踏まえた「気候危機突破プロジェクト」を部局連携により進めることで相乗効果を生み出す。

2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組 (予定)	・地域主導型自然エネルギー創出支援事業補助金 事業費の確定による減 △ 11,931千円 ・自然エネルギー地域発電推進事業補助金 事業費の確定による減 △ 133,000千円 ・小水力発電ポテンシャル見える化事業 事業中止による減 △ 5,016千円
------------------------	---

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							No	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度末		R3年度 目標値	事業 コスト	区分(単位:千円)		
		R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度				R2年度	R3年度	R1年度	R2年度			R3年度		
		前年度繰越	8,950	0			0											
		当初予算	197,955	164,866			1,135,422											
		補正予算	-132,737	-115,380			420,655											
		合計(A)	74,168	49,486			1,556,077											
		うち一般財源	46,359	12,428			1,356,096											
		決算額(B)	68,594	42,533														
		職員数(人)	7.0	7.0			7.0											
成果指標 設定理由		1 県内における地域主導型の取組を把握するための指標 ※目標値：前年実績や事業者ヒアリングに基づき設定 2 県内における発電設備の普及状況を把握するための指標 ※目標値：2030年度の目標値から算出																

事業番号	06 02 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	自然エネルギー推進事業費		部局	環境部	課・室	環境政策課ゼロカーボン推進室

細事業No.	細事業名	R1年度最終予算		R2年度最終予算		R3年度予算	
		計	千円	計	千円	計	千円
1	自然エネルギー推進事業費					当初予算	1,135,422
						補正予算	420,655
		計	65,218	計	49,486	計	1,556,077
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	地域主導型自然エネルギー創出支援事業	補助金	市町村や地域の事業者が行う地域主導型の熱利用等の事業（ペレット・薪ストーブ等の導入、地域新電力の設立）への補助 市町村等を対象としたセミナー開催等
2	自然エネルギー地域発電推進事業補助金	補助金	市町村や地域の事業者が行う地域主導型の発電事業を収益納付型補助金により支援
3	再生可能エネルギー中間支援事業	委託	地域と専門人材や再生可能エネルギー事業者等をつなぐ「地域再エネコーディネイト機能」により、地域に根ざした再生可能エネルギー事業の推進
4	自然エネルギー協議会負担金	負担金	全国の道府県等が連携し、再生可能エネルギーの普及拡大を図るための協議会への負担金
5	環境エネルギー分野ビジネス創出事業	直接	県内における再生可能エネルギー・省エネルギーの更なる普及を図るため、環境エネルギー分野での技術・サービスの産業化に向けた支援を実施 【支援対象事業5件、研究会開催】
6	信州の屋根ソーラー普及事業	委託	・太陽光エネルギーの利用の拡大に向けて、建築物の屋根での太陽光発電や太陽熱利用のポテンシャルを公表して「見える化」するためのシステム（信州屋根ソーラーポテンシャルマップ）を構築し全県公開（R元.12） ・県内の屋根ソーラー需要をまとめて共同調達を実施。動画によるPRを行い自家消費型太陽光発電の普及を促進
		補助金	「信州の屋根ソーラー」の普及を加速させるため、信州の屋根ソーラー認定事業者と連携し、太陽光発電設備と蓄電池の組み合わせによる住宅のエネルギー自立化を支援 ①既存住宅エネルギー自立化補助金 太陽光発電と組み合わせた蓄電池設置を支援 ②太陽光発電等普及活動支援補助金 県民への太陽光発電の普及活動に対する支援
7	小水力発電ポテンシャル見える化事業	委託	信州屋根ソーラーポテンシャルマップのシステムを活用し、小水力発電のポテンシャルの見える化を図るための小水力発電ポテンシャルマップを作成し、豊富なポテンシャルを最大限活用し、小水力発電の更なる普及を実現する。 <u>（環境省「再生可能エネルギー情報提供システム（REPOS）」の機能改善により利便性が向上したため、今後は当該システムに掲載されるポテンシャル情報を活用して小水力発電の普及促進を行うこととし、本事業は実施を見送り）</u>
8	県有施設太陽光発電・蓄電池普及事業	直接	県有施設に蓄電池を設置し、太陽光発電設備と合わせて、電力のピークカットや災害時の非常電源に活用。
9	県有施設太陽光発電設備導入事業費	直接	長野県ゼロカーボン戦略に掲げる「全ての建物への屋根ソーラー設置」の実現に向け、設置可能な県有施設への太陽光発電設備の導入を進めます。 ・県有施設への太陽光発電設備導入に係る設計及び設置工事